

# 森林環境譲与税の使途事例：教育委員会との連携による教室内ロッカーの木質化

▶ 令和元年度においては、以下の取組により、公共施設の木質化を行いました。

- 三重県産の木材を活用し、新校舎へ移転となった桔梗が丘中学校の教室内ロッカーの天板の木質化に取り組みました。これにより、市民の皆様の木材に対する興味や関心を高めるとともに、木材利用と森林整備の結びつきについて理解していただくきっかけを創出しました。
- 教職員に対し、聞き取り調査を行った結果、令和2年度以降において生徒への普及啓発活動を展開していくとの回答をいただいております。

## □ 事業内容

### 1 市内公立中学校の木質化事業

- 三重県産の木材を活用し、新校舎へ移転となった桔梗が丘中学校の教室内ロッカーの天板の木質化を実施しました。
- 木材利用と森林整備の結びつきについて理解していただくきっかけを創出するために、令和2年度以降において、生徒に対し普及啓発活動を展開していく予定です。

【事業費】 6,000千円（全額譲与税）

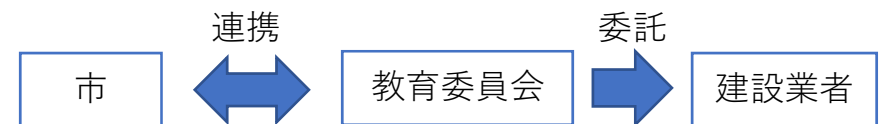
【実績】 木材使用量2.09m<sup>3</sup>



(1 桔梗が丘中学校の木質化)

## □ 事業スキーム

### 1 市内公立中学校の木質化事業



## □ 工夫・留意した点

- 公共施設の木質化を行うだけでなく、木材利用と森林整備の結びつきや、森林整備の必要性について、普及啓発活動を図りました。

## □ 基礎データ

①令和元年度譲与額	8,253千円
②私有林人工林面積（※1）	4,128.83ha
③林野率（※2）	52.7%
④人口（※3）	78,795人
⑤林業就業者数（※4）	12人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より